



くすくすくん（県立図書館マスコット）

令和4年4月27日
佐賀県立図書館 総務・企画担当
担当者 田崎・伊香賀
内線 3711 直通 0952-24-2900
E-mail: saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp

『佐賀県近世史料』第3編（唐津藩編）第1巻を刊行しました ～ 唐津藩を治めた水野家の史料を収録 ～

県立図書館では、くずし字などで記された佐賀県の近世史に関する重要な史料を活字化し、刊行する佐賀県近世資料編さん事業を行っています。

今回は、第3編（唐津藩編）第1巻（通巻30冊目）として、唐津藩を治めた水野家の史料「そうかくろく叢格録」「しよし でんこうい庶士伝考異」「しよし でんこうへん庶士伝後編」を収録し、刊行いたしました。

この史料集は、5月10日（火曜日）から販売・閲覧・貸出を開始します。

研究者の方はもちろん、歴史と文化を愛する県民の皆様が、佐賀県の基礎資料として活用してくださることを希望します。

記

1 内 容

本巻で取り上げる水野家は、三河刈谷城主水野忠政の孫の水野忠元（1576～1620）に始まります。忠政の娘が徳川家康の生母伝通院（於大の方）で、初代忠元と家康は従兄弟の間柄になり、水野家は將軍家の「御外戚」として、数多い譜代大名の中でも屈指の名門として知られていました。初代忠元は年寄（のちの老中）として幕政に参画、5代忠之（1669～1731）は勝手掛老中として徳川吉宗の享保の改革を推進、11代忠邦（1794～1851）は老中首座として天保の改革を実施、12代忠精（1832～1884）も老中となるなど、大名でありながら幕府の中で重職を担うことも多くありました。

江戸時代、唐津藩は転封によっていくつもの大名家が交代で治めましたが、水野家もその中の一つです。水野家が唐津を治めた期間は、宝暦12年（1762）から、遠江浜松へ転封となる文化14年（1817）までの56年間で、唐津における水野家最後の当主は忠邦でした。

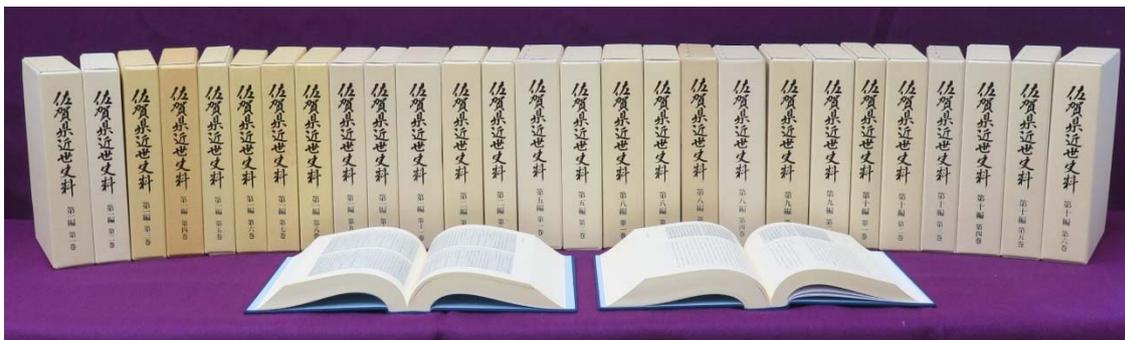
本巻には、この水野家に関する史料「そうかくろく叢格録」「しよし でんこうい庶士伝考異」「しよし でんこうへん庶士伝後編」を翻刻して収録しています。



「叢格録」 東京都立大学図書館所蔵〔水野家文書〕

水野家に関する記録。享和元年（1801）から文化14年（1817）までの江戸藩邸の記録をもとに編さん。文久2年（1862）完成。藩主の江戸城への登城や唐津への帰国、藩主家における出産・婚姻・養子・法事・葬儀などについて記されている。文化9年（1812）に唐津藩主となった水野忠邦の記事も含まれる。

- 2 本文頁数 967頁（他に口絵10頁、^{かいだい} 解題 25頁）
 解題...史料の内容や時代背景について分かりやすく説明した解説。
- 3 発行 佐賀県立図書館
- 4 価格 1冊 11,000円
- 5 お申込み方法
 別添の「佐賀県近世史料購入申込書」に必要事項を記入の上、2階総合カウンターへ提出していただくか、郵送又はファックスにてお送りください。
 申込書は県立図書館に設置しています。（ホームページからもダウンロードすることができます。）
 県立図書館ホームページ（<https://www.tosyo-saga.jp/>）
 【トップ画面 > 刊行物（刊行物のご案内）> 有償刊行物（1. 『佐賀県近世史料』）】
- 6 お支払い方法
 来館での現金払い又はPayPay払い、現金書留、納入通知書での入金
- 7 申込・問い合わせ先
 佐賀県立図書館 郷土資料課
 〒840-0041 佐賀市城内2丁目1-41
 電話：0952-24-2900 ファックス：0952-25-7049
 E-mail：saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp



参考 これまでに刊行した『佐賀県近世史料』